

①～⑨について記入してください

2. 種類別明細書(増加資産・全資産用)の記入例

※ 一般方式により申告される方は、前年中に新たに取得した資産及び前年度までに申告もれになっていた資産を記入してください。

※ 電算処理方式により申告される方は、賦課期日(1月1日)現在所有している全ての資産を記入してください。

令和6年度

種類別明細書(増加資産・全資産)

ひたちなか市

※ 所有者コード ※		種類別明細書(増加資産・全資産)										所有者名		1枚のうち						
記入する必要はありません												(株)ひたちなか製作所		1枚目						
行 番 号	資 産 の 種 類	資 産 コ ー ド	資 産 の 名 称 等	数 量	取 得 年 月		(イ) 取 得 価 額				耐 用 年 数	減 価 残 存 率	(ハ) 価 額				課 税 標 準 額	課 税 標 準 額	増 加 事 由	摘 要
					年 号	年	月	十 億	百 万	千			円	十 億	百 万	千				
01	2	0001	油水分離装置	1	R	05	01	2	000	000	05							①・2 3・4	特例 〇〇〇条〇項	
02	2	0002	コンプレッサー	2	H	18	04		700	000	07							1・2 3・4	申告もれ、 旧11年	
03	2	② 0003	切断機	④ 1	R	05	03	1	100	000	07							①・2 3・4		
04	6	0001	エアコン	1	R	05	10		600	000	06							①・2 3・4		
05	6	0002	コヒ°-AB64型	1	R	05	06	1	000	000	02							1・2 3・4	中古取得	
06	①								⑥									1・2 3・4	⑨	
07																		1・2 3・4		
08			③ 資産の名称を記入してください。															1・2 3・4		
09			④ 増加した資産の数量を記入してください。															1・2 3・4		
10			⑤ 資産を実際に取得した年月日を記入してください。															1・2 3・4		
11																		1・2 3・4		
12																		1・2 3・4		
13																		1・2 3・4		
14																		1・2 3・4		
15																		1・2 3・4		
16																		1・2 3・4		
17																		1・2 3・4		
18																		1・2 3・4		
19																		1・2 3・4		
20																		1・2 3・4		
				小計	6			5	400	000								3・4		

記入は不要です。  
ただし、電算処理方式により申告される方は、記入してください。

- 【資産の種類】  
以下の数字で記入してください。  
1: 構築物(建物附属設備含む)  
2: 機械及び装置  
3: 船舶  
4: 航空機  
5: 車両及び運搬具  
6: 工具、器具及び備品

- 1: 新品取得  
2: 中古品取得  
3: 移動による受入れ  
4: その他の別に、該当する増加事由を○で囲んでください。

法定耐用年数を記入してください。  
なお、増加事由が申告もれで、資産の種類が「機械及び装置」のものを平成19年12月以前に取得した場合は、「摘要」欄に改正前の耐用年数も記入してください。(例: 申告もれ、旧11年)

当該資産について、非課税、特例該当等の価格決定にあたって必要な事項を記入してください。

② 資産コード

前年度までに申告のあった方は、電算印字の明細書に記載されている番号の続番号を、資産の種類ごとに記入してください。初めての方は、資産の種類ごとに1番から記入してください。

⑥ 取得価額

当該資産の取得価額を記入してください。なお、取得価額とは、償却資産を取得するために通常支出すべき額をいい、据付費、運送料、手数料等の直接要した費用も含まれます。